

血中アミノ酸プロファイリングの有用性 ～アミノインデックス®～

演者：**安東 敏彦**

味の素株式会社ウェルネス事業部
アミノインデックスグループ

近年のバイオインフォマティクスの流れは、遺伝子の解析(ゲノミクス)から蛋白質の解析と機能の把握(プロテオミクス)、そして代謝物の解析(メタボロミクス)へと発展している。これらの一連の流れは、生体システムの構成因子の理解の積み重ねから全体を把握しようと試みるアプローチと言える。我々は、代謝物ネットワークの中心的存在であるアミノ酸の濃度パターン(アミノグラム)によって生命現象レベルの複雑な関係の多元的解析から構成因子や機能を予測するアプローチを試みてきた。その研究の成果として、生体アミノ酸プロファイルを指標に健康状態を解析できる可能性を示した。

日時：2016 年 3 月 29 日 (火) 12:00～12:50

会場：D 会場 (札幌コンベンションセンター 107/108 会議室)

共催：味の素株式会社

定員 240 名